

NEWSWAVE

～ 新しい時代を切り拓く実践経営情報紙 ～

発行

(株)本宮会計センター

〒969-1169

福島県本宮市本宮字小原田200-2

TEL 0243-33-5535 FAX 0243-33-4467

2014年度の国民負担率は過去最高 租税負担率 24.1%など計 41.6%に

国民負担率とは、国民所得に対する税金や社会保障料（年金・医療費などの保険料）の負担割合。財務省はこのほど、2013年度の実績見込みでは40.6%だった国民負担率が、2014年度予算では1.0ポイント増の41.6%と過去最高となる見通しと発表した。景気回復や消費税率引上げ等に伴い租税負担率が増加し、2年ぶりに前年を上回る。14年度見通しの内訳は、国税が14.5%、地方税が9.6%で租税負担率が24.1%、社会保障負担率は17.5%。

2013年度実績見込みに比べ、租税負担率は0.8ポイント増（国税0.9ポイント増、地方税は横ばい）、社会保障負担率は0.1ポイント増。社会保障負担は、この統計を開始した1970年以降では最高だった12・13年度（17.4%）をわずかに上回った。

国民負担率を諸外国（11年実績）と比べた場合、アメリカ（30.8%）よりは高いが、フランス（61.9%）、スウェーデン（58.2%）、ドイツ（51.2%）、イギリス（47.7%）などよりは低い。

真の負担率は、財政赤字という形で将来世代へ先送りしている負担額を加える必要がある。

財務省によると、2014年度の国民所得（13年度に比べ7万6千円増の370万5千円）に対する財政赤字の割合は、前年度から1.3ポイント減の10.3%となる見通し。この結果、14年度の国民負担率に財政赤字を加えた「潜在的国民負担率」は、13年度からは0.3ポイント減の51.9%となる見通しだが、引き続き5割を超えている。


ものづくりなでしこJAPANに期待 成長戦略の中核を担う女性幹部ら 12人

安倍首相が今年1月の施政方針演説で訴えたのは「すべての女性が活躍できる社会をつくる」だった。すでに機械産業の基幹に不可欠の「素形材」製造に取り組む女性経営者らで作る「ものづくりなでしこJAPAN」は、鋳造や鍛造というお堅い分野の女性リーダーの集まりで、男性社会の素形材産業に新風を巻き起こそうとしている。

「ものづくりなでしこJAPAN」は、経済産業省地域経済産業政策課・課長補佐の伊奈友子さんが、製造業の女性経営者の横のネットワークを繋ごうと2年前に発足した会である。彼女は業界団体（鍛造、鋳造、プレス、熱処理、金型等）との関係が長く信頼も厚い。

その基盤に立って「ものづくり・ことづくり・ひとづくり・地域づくり」を合言葉に、製造業×経営＝女性の社会的交流と、女性が稀な分野を掛け合わせたところで活躍する各々の知見を生かして、働く女性のニューヒロイン像を示し、社会進出を後押ししようという試みだ。

同プロジェクトは、鋳造、プレス、メッキ、熱処理など、ものづくり関連企業の12名の女性経営者が中核。出身はすべて理系ではないが、技術や経営を学び、出産・子育ても経験、社長業で荒波に揉まれる毎日。製造業の現場を会得して一人で何役もこなす、その役割に加えて、「女性はものづくり産業を救えるか」という熱い期待が集まっている。


弊社では「MCS NEWS WAVEのメール配信」を促進しております！！
メールアドレスをご記入のうえ、0243-33-4467までご返信ください

メールアドレス

@

FAXの印字状況により、文字が読み取りにくい時は確認の為、当社よりご連絡をする場合がございます。

ご不要の場合または、該当者がお出でにならない場合は、FAXを返信頂ければ次週より配信を停止致します。